

日向市社会福祉協議会

ハートフル
8月号
2017年

社会福祉だより

日向市総合福祉センター

「よろしくお願いします」

社会福祉法人 日向市社会福祉協議会

会長 渡邊 康久

役員改選を行い、新たに会長が就任しました。

社会福祉法人制度改革に伴い、平成29年4月1日より新評議員22名が選任されました。これまで諮問機関であった評議員会は議決機関となり、事業報告や決算の承認、役員選任・解任などの権限を受け、理事等の法人経営執行に関する牽制、監督の役割を担います。（評議員名簿は下表のとおり）



役員16名（理事13名、監事3名）

任期：平成29年6月27日から平成31年6月定時評議員会終結の時まで

役職名	氏名	選出区分
会長	渡邊 康久	学識経験者
副会長	沖田 實美	区長公民館長連合会代表
副会長	橋口 克義	
理事	若藤 拓男	民生委員児童委員協議会代表
理事	齋藤 文子	
理事	岡田 善信	区長公民館長連合会代表
理事	菊澤あつ子	女性団体代表
理事	三樹 熱	ボランティア団体代表
理事	黒木 久典	学識経験者
理事	水野 重信	社会福祉行政機関の職員
理事	松木 真一	社会福祉施設の役職員
理事	黒木 正一	一般協力者
常務理事	黒木 一彦	社協事務局の職員
監事	川元 正共	民生委員児童委員協議会代表
監事	中村 公彦	学識経験者
監事	立光 洋行	学識経験者

会長就任あいさつ



この度、会長に就任いたしました渡邊康久です。日向市社会福祉協議会の会長という重責に身の引き締まる思いであります。

日向市社会福祉協議会は、昭和26年10月に設立され、以来60有余年の長い年月が経過しております。この間、歴代役員や関係者、職員の努力により、先駆的な取り組みや各種事業を展開しながら、日向市の地域福祉の推進に大きな役割を果たしてまいりました。

少子超高齢社会の進展に伴い、ひとり暮らしや認知症高齢者の増加、地域コミュニティの低下による社会的孤立など、市民の皆様の生活環境やその課題は、複雑多様化しております。

このような中、市民の誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進し、地域福祉の事業を展開する社協の役割はますます大きくなってきております。

今後、役職員をはじめ関係団体や市民の皆様のご支援ご協力をいただきながら、社協の使命であります「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」に向けて、微力ながら務めてまいりますので、よろしくお願ひ申しあげます。

渡邊 康久

評議員22名

任期：平成29年4月1日から平成33年6月定時評議員会終結の時まで

No.	氏名	選出区分	氏名	選出区分		選出区分
1	岩倉フジ子	民間社会福祉施設代表	9 井上 忠佳	区長公民館長連合会代表	17 黒木喜代子	ボランティア団体代表
2	谷山 伸介		10 木下 唯雄		18 平田 賢司	
3	黒木 邦人		11 橋口 洋子	保護司会代表	19 福永 鉄治	社会福祉行政機関の職員
4	小坂 昌臣	民生委員児童委員協議会代表	12 落合 千里	女性団体代表	20 岸本 哲郎	学識経験者
5	伊達 忠士		13 南中 浩子		21 富山 栄子	
6	黒木 求		14 甲斐ひろみ	障害児者団体代表	22 白石 務	利用者家族代表
7	松木 通雄		15 寺原 弘勝	高齢者クラブ連合会代表		
8	新名 敏文		16 原田 耕作	ボランティア団体代表		

生活支援サポーター “東郷ごはん俱楽部” 養成講座を開催しました

～孤食を防ぐ取り組み～



いまの元気を明日も続けていくために…毎日おいしく、楽しく食べる習慣を!!

高齢者になると、一般的に食が細くなります。また、偏食にもなりがちです。そのまま食事量や食事回数が減っていくと、たんぱく質やエネルギーなどの不足で、深刻な栄養障害を招く場合があります。

- 三食きちんと食事をとる
- 栄養状態を高める食事を心がける
- 誰かと一緒に食事をし、楽しむことが大切です。

東郷町では、高齢化率が約46%という現状の中、ひとり暮らしの高齢者も少なくありません。

地域住民の力で、地域住民が地域社会から「孤立」しない、させない仕組みづくりとして、「サロン」や「100歳体操」など、地域の中の「居場所」づくりを進めています。

みんなで楽しく食事ができる場、栄養についての学習ができる場づくりを目的として、“東郷ごはん俱楽部”（生活支援サポーター）養成講座がスタートしました。



【6月23日(金)】

・第1回養成講座

地域における『支え合い活動の仕組みづくり』などの講話の後、自分たちの地区にある資源についてのグループトークを行いました。



～参加者の感想～

- ・約半数が高齢者という現実に、他人事ではないと思いました。
- ・本当に今からは支え合いが大事と思う。
- ・100歳体操とセットでのお食事会とかできそう。

調味料をうまく使えば
塩分控えめでも、
美味しい!!



うちの地区では…
あの集会所で…



【7月7日(金)】

・第2回養成講座（調理実習）

東郷病院栄養士より、塩分控えめのメニュー、高齢者にも食べやすい調理方法のポイントなどの指導を受けながら、調理実習を実施しました。



～参加者の感想～

- ・一日の塩分の摂取量など、勉強になりました。
- ・高齢者にとっての食事について、大変分かりやすく学習できました。
- ・今回のメニュー、さっそく7月のサロンで作ります！



第3回目となる7月21日（金）の講座では、地域での活動について計画づくりを行いました。

みやざき安心セーフティネット 日向ブロック会議 開催

日向市生活相談・支援センターと『みやざき安心セーフティネット事業』に参加する社会福祉法人の職員が一堂に会して意見交換する日向ブロック会議を開催しました。会議では、日向市の生活困窮者支援の現状や県内他市町村にて実際に取り組まれた『みやざき安心セーフティネット事業』の事例を共有しました。参加者のそれぞれの立場から、生活困窮者の支援に対して活発な意見が出されました。



みやざき安心セーフティネット事業とは？

この事業は、日向市生活相談・支援センターと本事業に参加する社会福祉法人が連携・協働し地域社会の構築に向けて生活に困窮している方々の相談支援を行うものです。相談者の困りごとや不安に対して、解決を図るために福祉制度・サービスにつないだり、経済的援助（現物給付）を実施したりします。また、各社会福祉法人には、担当相談員（CSW）が配置されています。



～相談・支援の流れ～

相談訪問

職員が相談者の住まいを訪問するなどして状況を確認します。

制度検討

問題を解決するために利用できる制度がないか検討します。

支援

適切な制度につなぎます。必要に応じて経済的援助（現物給付）を行います。

見守り

継続的に見守り、相談を行います。

【みやざき安心セーフティネット事業 参加施設】(全14か所)

特別養護老人ホーム永寿園	特別養護老人ホーム牧水園	障害者支援施設しおみの里
障害者支援施設あかつき学園	日向子ども発達支援センターもくせい園	障害福祉サービス事業所中心の里作業所
相談支援事業所トレトール	日知屋保育園	往還保育園
美々津保育園	中原乳児保育園	財光寺保育園
長江保育園	正念寺保育園	

『みやざき安心セーフティネット事業』は、誰でも相談可能です。生活に困りごとや不安を抱えている方、地域や周辺で気になることがある方などは、日向市生活相談・支援センターやお近くの参加施設にご連絡ください。

平成29年度 日向市社会福祉施設等連絡会 総会報告!

平成29年6月1日（木）、多くの社会福祉関係者出席のもと、平成29年度日向市社会福祉施設等連絡会総会が開催されました。

役員改選がおこなわれ、会長に松木真一氏（特別養護老人ホーム永寿園施設長）、副会長に黒木邦人氏（障害者支援施設しおみの里施設長）、監事に谷山伸介氏（児童養護施設鐘ヶ浜学園施設長）、奈須文明氏（JA日向福祉センター施設長）が選出され、承認されました。

会則規定に従い、これから2年間、連絡会の運営に携わっていただきます。



平成29年度新役員体制

日向市社会福祉施設等連絡会（以下、施設連）は、日向市内の社会福祉法人や福祉施設・事業所等の繋がりや連携のもとに、地域福祉の推進を担う組織として、平成9年に発足し20年目を迎えております。児童・障がい児者・高齢者の3つの分野ごとの部会で構成され、それぞれに連携強化、専門スキル向上に取り組んでいます。

「これからの中日向市社会福祉施設等連絡会は…」

今の社会は、各世代ごと、各世帯ごとで、生活課題が増え続けています。その生活課題は、今は“他人ごと”でも、いつかは“自分のこと”“自分たちのこと”になるかもしれません。住民一人ひとりが安心して暮らし続けるための“新たな地域の仕組みづくり”が急がれています。それは、地域に暮らす住民一人ひとりが役割を持ち、支える、支えられるという一方的な関係ではなく、相互に支え合う地域の仕組みづくりを意味しています。

これからの施設連としては、それぞれの専門職としての役割・機能を發揮し、専門性をつなぎ合わせ、課題を抱える一人ひとりに合ったオーダーメイドの支援を心がけてまいります。また、相互に支え合える地域の仕組みづくりのために、施設連（組織）としての役割・機能を果たしてまいります。



平成29年度施設連総会

総会出席 61登録法人・事業所(出席者72名)



「みんなで食べるっていいな…」
食から生まれる人と地域のつながり。

“つどう”ことで生まれる“ふくし”【横ちゃん＆清ちゃんのふくし食堂】H29.6.25

「ふくし食堂」は、食をつうじて、人々が集い、料理をする中でつながりをつくることを目指したふくし活動です。ボランティアや地域の企業・商店など、多機関連携のもと実施しています。今回、平成29年度第2弾の取り組みとして実施された「ふくし食堂」の取り組みを紹介します。



6月25日（日）、日向市総合福祉センターにて、ふくし食堂が実施されました。

たくさんの企業・商店さんのご協力をいただき、50名を超える参加者のもと開催しました。

今回は、カレーをつくり、みんなで食べました。サプライズの誕生日ケーキも登場し、会場全体が終始笑顔に包まれました。

たくさんの出逢いやつながりが生まれた活動となりました。



～参加者の感想～

- ・自分のカレーもおいしかったけど、他の人の作ったカレーもおいしかったです。（幼稚園生）
- ・知らない人と話すのは、緊張したけど、一緒にご飯作るのは楽しかったです。（高校生）
- ・料理中に話したり、色々ありました。楽しかったので良かったです。（中学生）
- ・作る楽しみ、出逢える楽しみ…。素敵な時間でした。（60代）
- ・大変お世話になりました。初めて会う人、もの、たくさんで楽しかったです。（90代）



←参加者や地域の企業・商店さんよりご提供いただき、たくさんの食材が集まりました。

<食材提供のご協力をいただいた皆様>
日玉中華食品株式会社 様
イチマル食品加工有限会社 様
山崎精肉店 様
日向百生会 様
ご協力誠に有難うございました。



地域のなかで“ともに生きる力”をはぐくむために…

～平成29年度 日向市社会福祉教育推進校会議～

7月14日(金)に、市内小中学校福祉教育担当教諭と日向市教育委員会、生活支援コーディネーター、地域福祉コーディネーターの参加のもと、福祉教育についての情報交換・協議を行いました。



福祉教育は、身の回りの人々や地域との関わりを通して、そこにどのような福祉課題があるのかを学び、その課題を解決する方法を考え、解決のために行動する力（ともに生きる力）を養うことを目的としています。社協では、身近な地域に暮らすさまざまな人の出会いや交流の場を設け、子ども達の「ともに生きる力」を育んでいく「地域を基盤とした福祉教育」を推進しています。

福祉教育実践発表

子ども達が、福祉を学び、自分たちに出来ることを考え、実践した一連の活動を報告して頂きました。



テーマ“地域と繋がる、福祉教育”についてのグループワーク



学校の活動：取組みの中に、地域の社会資源（人材・自然・伝承・施設等）を繋げ、地域の色を加えた福祉教育実践のあり方を、グループに分かれ協議しました。
先生方からの意見を活かし、学校と地域と社協が連携して地域と繋がる福祉教育を実践していきます!!

大分県・福岡県への災害支援活動を考えている皆様へ

この度の福岡県ならびに大分県を中心とした「平成29年7月九州北部豪雨」の発災に伴い、被災地にて支援活動を考えられている方もいらっしゃるかと思います。現地にて活動を行うにあたり、注意点がいくつかありますので、ご確認をお願いいたします。

①活動前にボランティア保険への加入をお願いいたします。

被災地でボランティア活動を行うには、活動中のケガや事故等に対応される「ボランティア保険」に加入いただくことが必須となっています。

ボランティア保険への加入は、原則として居住地の社会福祉協議会となっています。被災地のスタッフの負担を減らす為にも、事前の保険登録をお願いいたします。

②随時、情報の確認をお願いいたします。

被災地の現状は日々変化しています。時間の経過に伴って、困りごとや求められる人材（募集範囲）も変わりますので、facebookやホームページにて随時情報の確認をお願いいたします。

日向市社会福祉協議会でも、情報提供等を行っていますので、活動を考えられていて、情報を求められる方は、ご連絡をお願いいたします。

TEL: 52-2577 担当: 五十川裕美

予告 災害ボランティアリーダー養成講座を実施します！

平常時からの備えは、非常に大切です。

特に、災害ボランティアセンターに関する理解者（人材）の獲得は、日向市においても課題となっています。

そこで被災時の迅速な復旧・復興に向けた体制づくりとしまして、「災害ボランティアリーダー養成講座」を開催します。上り詳しく述べていただきため、複数回の講座を予定しております。詳しくは、次号の社協だよりにてお知らせいたしますので、お見逃しの無いようお願いいたします。

災害ボランティアセンターに関する
研修（基礎編・応用編）や実践訓練を実施する予定です。



じとうかん・センター より

指定管理者として日向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

ひちやじどうせんたー
日知屋児童センター ☎:52-8443

8月3日(木)

夏季教室『制作活動』(小学生対象)

☆牛乳パックを使って “ビヨビヨビヨ～ンびつくり箱”
を作ろう！箱を開けると中身が宙に舞います！！
●時 間 14:00～15:30
●場 所 日知屋児童センター 集会室
※手ぶらで参加できます！



8月10日(木)

『世代間交流』(小学生、幼児親子対象)

☆小学生が幼児さんを色んなゲームコーナーで楽しめます！お魚釣りに射的にジャンケン列車などなど盛りだくさん！！世代を超えた交流から、子どもたちの持っている優しさや社会性が自然と引き出されます！

●時 間 10:00～12:00
●場 所 日知屋児童センター 集会室
●申込締切 8月3日(木)



8月24日(木)

『おたのしみ会』(小学生対象)

☆毎年恒例！夏休み最後のお楽しみ♪楽しいゲームやスイカ割りで思いっきり盛り上がり上がろう！！

●時 間 14:00～16:00
●場 所 日知屋児童センター 集会室
●申込締切 定員35名になり次第



●だいおうだにじどうかん
大王谷児童館 ☎:66-1177

8月8日(火)

『映画鑑賞』(小学生・幼児親子対象)
☆子ども達が喜びそうなアニメを上映します。
お楽しみに♪
●時 間 13:30～16:00
●会 場 日向市中央公民館
●申込締切 8月5日(土)
※詳細についてはお問い合わせください。

8月22日(火)

『安全教室(避難訓練)』(小学生・幼児親子対象)

☆「火事だーー！！」
さあ、あなたはどうする！？
火災対応の避難訓練をします。

●時 間 14:00～15:30



8月26日(土)

『おたのしみショー☆』(小学生対象)

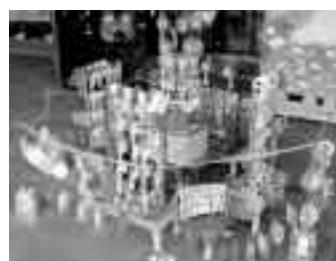
☆ダンス！マジック！
バンド演奏！みんなで
歌ったり、踊ったりして
楽しく過ごしましょう♪
●時 間 14:00～
15:30
●申込締切 8月24日(木)



駅を彩る「七夕飾り！」

日向市の恒例行事となった「七夕まつり」！！
今年も、7月1日(土)から15日(土)まで、日向市内の福祉施設や保育園などの色とりどりの華やかな「七夕飾り」が駅周辺に飾られました。

大王谷児童館・日知屋児童センター・市内の児童クラブの児童も一生懸命作りましたよ！飾り付け期間後もセンター・児童館などで飾っていますので、ぜひご覧ください！



退任の挨拶



私は、6月30日を以って日向市社会福祉協議会会長を退任いたしました。

日向市民の皆さまをはじめ、日向市ならびに関係団体の皆さま、区長公民館長、民生委員・児童委員の皆さまには、多大なご支援、ご協力を賜り心から感謝し、厚く御礼申し上げます。また、日向市社会福祉協議会の理事ならびに評議員の皆さま、そして黒木久典前事務局長、現事務局長および職員の皆さまには多大なご支援、ご協力を賜りました。深く感謝し、心から御礼申し上げます。有り難うございました。

平成23年5月「日向市認知症地域支援推進委員会」の発足の際に、前事務局長と横山美智子氏（あつなかホーム愛あい理事長）の要請で委員長として係わったご縁で、前弓削哲郎会長の後任として平成25年5月に日向市社会福祉協議会会长を引き受けることとなり、それから4年1ヶ月の間務めさせて頂きました。

在任期間中、新たな社協実践として、「生活困窮者自立支援事業」を日向市より受託し、「地域共生社会」の実現に向けて、全世代・全対象型の包括支援体制の構築に取り組むことになったことは、わたくしにとっても画期的で、いつまでも心に残るものあります。

また、最近、今年の秋に『第5回地域福祉実践研究九州セミナー』の日向市開催を依頼されました。これは、日向市社会福祉協議会が「地域福祉」の実践を、地域住民とともに、地道かつ真剣に取り組んできた行動と実績に対する評価によるものと言われます。

少子超高齢社会にあって、「地域福祉」の推進は重要な社会的な課題であります。日向市社会福祉協議会におかれましては、行政や関係団体と連携のもと、国の提唱する「我が事、丸ごと」地域共生社会の実現に向けた社協実践に取り組むとともに、『誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり』を目指して事業を推進して頂きますように心からお願い申し上げます。

私の後任に、渡邊康久氏（現日向市東臼杵郡医師会会長）が就任されましたことはこの上ない喜ばしいことであります。渡邊会長は、医師会長として「医療」と「福祉」の連携に尽力され、日向市における「医療と福祉の連携」の基礎を作られました。今後、国が推奨する「地域包括ケアシステム」の推進に向けて「医療」と「福祉」の連携の強化が期待されます。これから日向市社会福祉協議会の益々のご発展と皆さまのご健勝を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

前会長 中村恒雄

企業や団体の皆さんに福祉賛助会員として協力していただいております。

平成29年7月21日までの分 (協力順)

日向市役所課長親交会 様

日向市役所係長会 様

これからも福祉賛助会員を募集してまいります。
詳しくは、総務課総務係までお問い合わせ下さい。

【発行者】

社会福祉法人

日向市社会福祉協議会



きいちゃん ひまたん [日向本所]

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>

Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

[日向市生活相談・支援センター・心から]
[日向市ボランティア・市民活動センター]

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉 敬称略

平成29年6月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
河野恭子	河野重信	寺迫
山内順子	山内勝	庄手
甲斐一久	甲斐久美男	大王谷
松木和美恵	松木啓	上原町
甲斐利男	甲斐キミ子	鶴野内
井上アヤ子	井上孝雄	小野田
古賀美千代	古賀久米雄	幸脇
田中勇一	田中ヤエコ	中町
松岡春江	松岡政利	往還
柏田久美子	柏田照文	下原町
黒木慶助	黒木隆	庄手
岩倉裕幸	岩倉精子	往還
黒木和美	黒木フカミ	羽坂
黒木敬治	黒木立憲	飯谷

〈一般寄付金〉 敬称略

平成29年6月分

氏名・団体名
山本孫春 元市長をお祝いする会
根來惠美

〈物品寄贈寄付者〉 敬称略

平成29年6月分

氏名	地区	物品
黒木慶助	庄手	紙おむつ

社協活動日記

子どもの貧困が話題になる昨今、日向市内には子ども食堂が2か所開設されています。

東郷支所でも、「東郷に子ども食堂はでくっどかい、必要じゃろかい」という話になりました。東郷地域では高齢化率は46%を超え、子どもの数は非常に少ない状況にあります。地域は広いし、子どもは少ないし……「東郷には高齢者のための食堂が必要じゃねーどかい」……東郷は一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯は増加の一方にあります。「今日は一人じゃったから味噌でご飯を食べた」とか「夫婦二人じゃかい、あんまり食べんとよ」という会話をよく耳にします。じゃつたら、食に関する“生活支援センター”を養成しよう!ということで全3回のセンター養成講座を実施しました。講座を終了後、福瀬区と小野田区で「東郷ごはん俱楽部」がスタートの運びとなりました。この活動が少しずつ広がって、孤食の解消や栄養改善につながっていけばと思います。かかわってくださる地域の皆さんに感謝です。

(大野靖文)

【発行者】

社会福祉法人

日向市社会福祉協議会



きいちゃん ひまたん [日向本所]

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>

Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

[日向市生活相談・支援センター・心から]
[日向市ボランティア・市民活動センター]

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。

【東郷支所】

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2

日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274



この情報誌は再生紙を利用しています。

印刷所 有限会社 第一印刷